

L-シトルリン

L-Citrulline

L-シトルリン

非タンパク質構成アミノ酸。

食品ではスイカやニガウリなどに多く含まれ、ヒト体内にも存在する。

アンモニア解毒に関わるオルニチン回路の構成成分として重要なアミノ酸である。

オルニチン回路では、おもに肝臓に存在する酵素オルニチントランスカルバミラーゼの作用により、カルバミルリン酸とオルニチンが結合してシトルリンがつくられる。

シトルリンは通常、タンパク質中の成分としては存在しないが、アルギニンを合成するための中間体としても重要である。微生物のなかにはシトルリンを分解し、カルバミルリン酸を得、エネルギー源として利用するものもある。

L-シトルリンの効果・効能

- 狭心症患者においてリポタンパク質の酸化を抑制し、血管内皮機能障害を軽減 (Chem. 2013;13(3).)
- 若年女性における下肢むくみを抑制
- 中年男性における血管弾性を改善
- 術後肺高血圧症の抑制



製品規格

| | |
|---------|-----------------|
| 外観 | 白色結晶粉末 |
| 純度 | 98.5%~101.0% |
| 比旋光度 | +24.5° ~ +26.8° |
| 溶状(透過率) | 98.0%以下 |
| 塩化物 | 0.02%以下 |
| 硫酸塩 | 0.02%以下 |
| アンモニウム | 0.02%以下 |
| 乾燥減量 | 0.3%以下 |
| 強熱残分 | 0.1%以下 |
| PH | 5.0~7.0 |
| 粒度 | 40メッシュ90%パス |
| 重金属 | 10.0ppm以下 |
| 鉄 | 10.0ppm以下 |
| ヒ素 | 1.0ppm以下 |
| 一般生菌数 | 1,000cfu/g 以下 |
| カビ&酵母 | 100cfu/g 以下 |
| 大腸菌群 | 陰性 |
| サルモネラ菌 | 陰性 |
| 荷姿 | 10kg/Drum |
| 賞味期限 | 製造日より2年 |

KANESIA
Trading Company.

カネジア商事株式会社

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町7-5小川ビル1階

TEL:03-5577-6266 FAX:03-5577-6267

<http://www.kanesiacorp.co.jp>